

# 新幹線プレス

2019年12月21日 No.452

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 到着列車の車内点検を車掌長に！ これ以上の労働強化は許されない！ 駅の要員を増やせ！

会社は12月13日の業務委員会で「来年3月14日のダイヤ改正から東京駅到着列車の8.9.10号車の車内点検・遺失物対応を車掌長が行う」「点検には時間をつける」という説明を行いました。

その理由は「列車本数がふえるので点検が間に合わない。」ということでした。

私たちJR東海労は、「車掌長の仕事はっそう労働強化となる」「駅の要員を増やせ」と強く要求しました。しかし、会社は「駅の要員確保はできない」と開き直りました。私たちはそうした見解に強く抗議し「団体交渉を開催せよ」と強く迫りました。

車内業務の見直し以降、車掌長の仕事が非常に過酷なものとなっています。その上新たに車内点検を行うとはとんでもない話です。列車本数が増えるだけでなく折り返し時間も短くなります。「駅の要員確保ができない」のは会社の責任です。

私たちJR東海労は車掌長の仕事の労働強化に反対です。駅の要員の拡大と車掌の乗り組みを三人にすることを求めています。